

コーセー、コティ社メイクアップブランド“リンメル[RIMMEL]”の 日本における輸入・製造販売ライセンス契約を締結

株式会社コーセー(本社:日本・東京都中央区、代表取締役社長:小林保清)と、コティ社[Coty Inc.](本社:米国・ニューヨーク、最高経営責任者[CEO]:バード ビーツ[Bernd Beetz])は、コティ社が持つメイクアップブランド“リンメル[RIMMEL]”の日本における輸入・製造販売に関してライセンス契約を締結しました。これによりコーセーは“リンメル”製品の輸入、並びにライセンス契約に基づく製造を行い、2006年9月より日本市場での販売を開始する予定です。

“リンメル”は1834年に英国で創設されたメイクアップブランドで、英国ではマスメイクブランドの販売シェアNo.1で圧倒的な支持を得ています。ターゲットは10代後半～20代のロンドンファッションに共感する女性で、「ロンドンルック」をブランドコンセプトに、「ルールにとらわれない最先端のライフスタイル」、「クール」、「革新的」なメイクアップイメージを提案しています。現在イメージキャラクターには英国出身のファッションモデル“ケイト・モス”を採用し、ヨーロッパ、アメリカ、カナダ、オセアニアなど、50カ国以上の国々で幅広く展開しており、セルフ販売のメイクアップブランドとして高い認知率と売上げを誇っています。

今回の提携により、輸入品に加え、“リンメル”のユニークで流行の最先端を行く世界的に高いブランド価値に、コーセーが持つ日本での化粧品ビジネスのノウハウと、高い製品開発力が加わり、日本女性のメイクアップスタイルや嗜好を取り入れた新たな製品を開発・導入することになります。製品は全国のドラッグストア・スーパーマーケット・バラエティストアを中心に什器展開による販売を予定しています。

今後は3年間で取り扱い店舗数2000店を目標に、日本市場におけるセルフ販売のメイクアップブランドとして愛用者の拡大を目指していきます。

ブランドについて

リンメル(RIMMEL)

URL://http://www.rimmellondon.com



ブランドコンセプト:「THE LONDON LOOK」

常識を打ち破るロンドンガール。先進的なロンドンメイク。

主な導入国と販売拠点:

ヨーロッパ: ブーツ・テスコ他

アメリカ: ウォルマート・ウォルグリーン・ブルックス他

日本: バラエティショップ他

主な販売製品および価格帯:

マスカラ、口紅、ファンデーションなど1000円前後

ネイルカラー600円前後

コティ社:Coty Inc.

(本社:米国・ニューヨーク、最高経営責任者[CEO]:バーンド ビーツ[Bernd Beetz])

URL:// <http://www.coty.com>

1904年 化学者フランソワ コティがパリにてフレグランス事業で創業。
フレグランスを中心に世界80カ国以上で販売、欧州を中心にマスとプレステージ市場をもつ。
生産拠点は米国(サンフォード[Sanford])、英国(アッシュフォード[Ashford])、
スペイン(グラノリエルス[Granollers])、仏国(シャルトル[Chartres])
従業員25カ国約8000人

株式会社コーセー

(本社:日本・東京都中央区、代表取締役社長:小林保清)

URL://<http://www.kose.co.jp>

1946年 小林孝三郎が東京にて化粧品会社として創業。
日本を中心にアジア全域で販売、消費者ニーズに合ったブランドを最適な流通チャネルに
配置するという独自のブランドマーケティングと、新たな市場を切り開く製品開発力が特長。
生産拠点は日本(埼玉県・群馬県)、中国(浙江省杭州)
従業員約4800人(連結)